

# 新建築

SHINKENCHIKU:2009

12





# 新フランス大使館

基本計画 ADP Ingénierie (ADPI)

設計 竹中工務店 / ADPI

施工 竹中工務店

所在地 東京都港区

NEW FRENCH EMBASSY

architects: ADPI / TAKENAKA CORPORATION

フランス大使館の建て替え。手前に道路に面したビザ棟。奥に事務所棟を見る。緑豊かな敷地内には、大使公邸（「フランス大使公邸 改修」改修設計：みかみぐみ・竹中工務店、本誌0902）と職員住宅（「IMMEUBLE D'HABITATION フランス大使館共同住宅」設計：SKM設計計画事務所・柴田いづみ建築設計、同6811）や職員住宅も建つ。敷地内の北西に残る旧大使館は、新大使館への移転後に解体され、民間デベロッパーによるマンションが建設される予定。





4層吹き抜けのアトリウム。上部はトップライト、北側に配置されたオフィスと廊下とはガラスパーティションで仕切られ、廊下から森までが見通せる。PCa版が外壁から連続する。

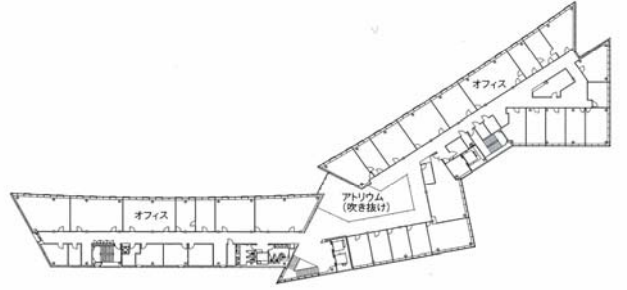




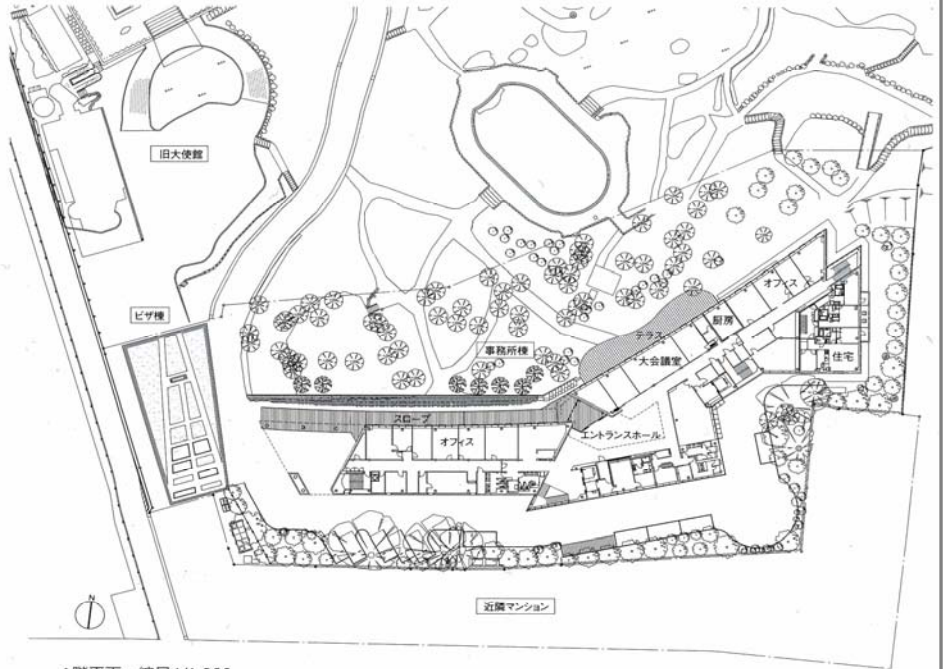
階段室。鉄と木で構成されている。さらさら桁兼用の三角断面の構造梁がカーテンウォールを支えている。／西端の廊下よりガラスパーティションを介してオフィスを見る。／2階廊下。階ごとにテーマカラーが設定されている。／1階大会議室。廊下から外部のテラスまで見通す。壁画はニコラス・ピュッフェ氏の作品。



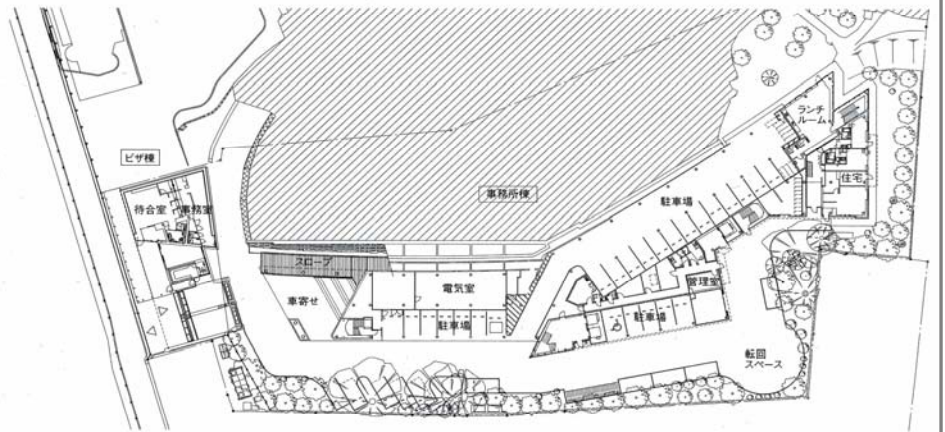
ビザ棟内部。壁はコンクリート打ち出し、天井はアルミカットパネル。左にビザ申請窓口カウンター。



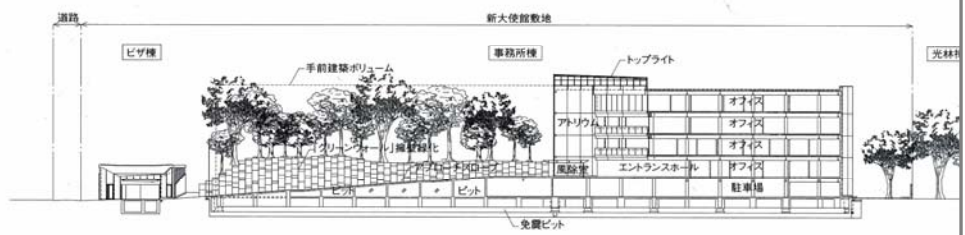
基準階平面 縮尺1/1,200



1階平面 縮尺1/1,200



地下1階平面



断面 縮尺1/1,200



